

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2020年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	【併用】専門演習Ⅳ		
担当者(Instructors)	白井 克尚	配当年次(Dividend year)	4
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)
自分の問題意識にもとづき、卒業研究論文としてまとめることを通して、論文の書き方を学ぶ。また、一つの仕事を遂行するやり方を学ぶ。最後は、卒業研究論文として仕上げる。通常はオンライン授業で行い、グループワークなど対面授業を予定している。

■ 授業形態・授業の方法(Class form)	
授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	授業の方法は、自分の研究についての進行状況を発表しながら、プレゼンテーション力をアップさせるとともに、他者の発表を聞き、自分の意見を言う活動を通じて、コミュニケーション力も養う。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)			
回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	夏休み中の研究の進展状況報告	専門演習Ⅲの後、夏休み中に行った研究について、各自が発表する。	☐
第2回	後期の研究計画	今後、どのように研究を進めていくかについて、研究計画を作成する。困った問題等があれば、皆に相談する。	☐
第3回	先行研究についての検討	それぞれの研究について、先行研究のまとめ方を学ぶ。そして、自分の研究がどのような位置にあるのかを発表する。	☐
第4回	引用文献の書き方を学ぶ	引用文献の書き方について習う。	☐
第5回	分析課題についての検討	自分は何を知りたいのか、何がしたいのか、どんなものを作りたいのか、等の問題関心について発表し、それを文章にする。	☐
第6回	仮説についての検討	調査方法・制作方法・創作方法等について、文章化する。	☐
第7回	研究方法についての検討	研究方法について学ぶ。さらに、どのようにして知りたい結果を出すのかを検討する。	☐
第8回	分析結果についての検討	分析結果について検討する。さらに、どのようにすれば、課題を解決できるかについて検討する。	☐
第9回	研究成果についての検討	研究成果について、どのように出すのかについて説明を聞き、疑問点を質問する。	☐
第10回	研究課題についての検討	研究成果について、どのように出すのかについて説明を聞き、疑問点を質問する。	☐
第11回	研究としての一貫性についての検討	研究として一貫性があるかについて考える。「問題の所在」と「仮説」と「研究の成果と課題」が合っているかについての確認を、発表しながら検討する。	☐
第12回	卒業研究論文の完成	今までのものをすべてまとめて、卒業研究を完成させる。	☐
第13回	研究概要の作成	研究概要を作成する。	☐
第14回	卒業研究発表会用の準備	卒業研究発表会に使用するポスター、製作物、表現の準備を行う。	☐
第15回	まとめとプレゼンテーションの練習	プレゼンテーションの練習と全体を通して、反省も含めたディスカッションを行う。	☐

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)
事前学習として、次の授業を理解するために、毎回指示するテーマや課題を予め調べておく（2時間程度）。事後学習として、授業で扱ったテーマや課題について関連資料を参照しながら復習する（2時間程度）。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)
・研究成果の発表は、感想交流を通してフィードバックし、全体で共有する機会を持つ。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)		
区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
	◇ 2018子ども発達DP1	自分の興味関心に基づいた研究テーマを決定することができる。
	◇ 2018子ども発達DP2	研究計画を具体的にしっかりと立てることができる。
	◆ 2018子ども発達DP3	問題意識をもち、自分で研究を進めることができる。

■成績評価(Evaluation method)				
筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
0%	0%	0%	60%	40%
授業内試験等(具体的内容)(Specific contents) 課題提出をもって、出席とする。毎回の授業の振り返りから、授業への取り組みの様子を評価する。 卒業研究発表会において、他者の発表をしっかりと聞き、自分なりに考えて、適切な意見が出せたか、表現力・思考力・判断力を評価する。				

■テキスト(Textbooks)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	授業の中で、適宜紹介する。	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	稲垣忠彦・佐藤学『授業研究入門』岩波書店, 1996年	978-4000039482
2	佐藤学『教師というアポリアー反省的实践へ』世織書房, 1998年	978-4906388608
3	佐藤学『教師たちの挑戦―授業を創る、学びが変わる』小学館, 2003年	978-4098373611
4	佐藤学『教育方法学』左右社, 2010年	978-4903500348
5	佐藤学『学び その死と再生』太郎次郎社, 2015年	978-4811804118